

講義名	(対面)研究演習		
講義コード	25055	授業形態	
担当教員	辻本 千春		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 5時限		
備考			

ゼミ
辻本ゼミ
学部
全学部
学科
全学科
演習名
観光マネジメント論

## 概要説明

2019年度の研究演習 では、『社会共創』プログラム、大阪府・大阪市IR推進局主催「大学生の考えるIR」に挑戦しました。ゼミでは、外部講師を依頼して(大阪観光局、IR推進局など)講義をお願いしたりIRの候補地である大阪・夢洲を視察して、MICEの拠点のひとつであるインテックス大阪を視察して、関係者とディスカッションしました。また、9月には神戸国際会議場で開催されていた「ISPO」という大型の国際見本市兼国際会議を視察しました。そして、今年2月には「大学生の考えるIR」の発表会に参加して、全員で発表を行いました(大阪の中之島公会堂にて)

また、日本観光研究会関西支部の関連するNPO観光力ネットワーク関西「学生連絡協議会」では関西の7~8校の大学の学生が中心となり、まちづくりや地域振興、あるいは研修旅行を企画しており、その組織のメンバーになって他大学の学生と企画したり、そのイベントに参加する(任意)こともできます。ただ、今年はコロナのため、活動は中止となっておりますが、昨年は、

たとえば(予定)城崎温泉体験  
・6月上旬(予定)城崎温泉体験  
・8月下旬(予定)城崎インターンシップ(旅館マネジメント研修と課題解決発表会)  
・タイ国政府観光庁やグアム政府観光局との共同プロジェクト(計画中)  
など

履歴書に書けるプロジェクトやプレゼン体験を楽しく実行しましょう。

趣味・特技
スタンドグラス製作、庭いじり
所属
人間社会学部 観光学科
所属学会
日本観光研究会(理事) 日本観光学会関西支部(幹事) 日本国際観光学会
専門分野
観光マネジメント、観光によるまちづくり、ニューツーリズム(スポーツツーリズム、ヘルスツーリズム)、国際観光(インバウンド)
担当科目
リゾート論、地域・都市集客論、観光政策論、観光学原論、観光学へのいざない 研究演習、卒業研究
備考
(土)(日)にプロジェクト活動をすることもあります(早目に予定します)し、その移動に伴う交通費が発生することもあります。
評価方法
・出席状況、取り組み姿勢、協力態勢、発表やプレゼンの内容等を総合的に判断します。
実務経験の有無及び活用
実務経験あり ・近畿日本ツーリスト株式会社において、主に海外旅行プログラムのソリューション営業、つまり個人旅行ではなく組織や団体の問題を解決するための企画を約30年間担当しました。その間に身につけた知識や情報、その入手方法を含めて、旅行企画や観光、観光事業における具体的な内容を講義するとともに、退社後に大学

学位
博士：創造都市

## 教員よりの要望

2年生は重要な時期です。問題解決型演習として、地域を元気にするために楽しくフィールドワーク(調査・ヒアリング)を行い、そのプロセスや研究結果を発表しましょう。いろいろな人に会うことも重要であり、視察や会社訪問も行う予定です。人間形成をしながら卒業後のキャリアも視野に入れて前進しましょう。

教員英字氏名
Tsuimoto Chiharu
研究室
5421
最終学歴

大阪市立大学大学院創造都市研究科後期博士課程修了

## 主な研究活動・社会活動・研究業績

研究活動  
・研究テーマは「観光によるまちづくり」「地域活性化」です。特に、メディカルツーリズム、ヘルスツーリズム、スポーツツーリズム等のニューツーリズムや「インバウンド」による地域活性化を研究しています。現在はオルレ、「濱州オルレ」「九州オルレ」について調査研究しています。

社会活動  
・泉佐野りんくう国際観光振興協議会 理事  
・泉佐野市観光推進プロモーション協議会 理事  
・日本観光研究会 理事、関西支部 幹事  
・京都府スポーツ観光推進プラットフォーム、アドバイザー  
・大分県竹田市 竹田市観光振興 アドバイザー など

研究業績(著書/論文)  
・「ヘルス/メディカル・ツーリズム研究」、単著、令和2年2月、大阪公立大学出版会OMUP  
・「入門観光学」、共著、平成30年4月、ミネルバ書房、担当：第15章「メディカルツーリズム」  
・「観光学入門」、共著、平成29年3月、晃洋書房、担当：第3章「国際観光学概論」  
・「地域創造のための観光マネジメント講座」、共著、平成28年11月、学芸出版社、担当：第4章「ヘルスツーリズムと地域創造」  
・「一からの観光事業論」、共著、平成28年3月、中央経済社、担当：第15章「地域のインバウンド事業 九州における訪日外国人誘客プロジェクト「九州オルレ」」  
・「都市構造と都市政策」、共著、平成26年4月、古今書院、担当：第21章「医療・福祉とまちづくり」

## 主な卒業論文のタイトル

これまでの卒論指導テーマ(一部)

- ・漂海民族バジャウ族の発展 サスティナブル・ツーリズムから見たセブ島に住むバジャウ族の変化
- ・SNSによる新しい旅の形 マンホールの蓋が生み出す観光の力
- ・三重県伊賀市における伊賀流忍者の観光の位置づけ
- ・訪日中国人観光客の消費動向の変化と今後のインバウンド観光について
- ・激動の観光業界がもたらす共有経済 -共有経済の核Airbnbの研究を中心に-
- ・2.5次元演劇のコンテンツ・ツーリズム化について -2.5次元演劇のツーリズムにおける立ち位置-
- ・観光におけるSNSマーケティングの重要性 -心理学的観点から見る“インスタ映え”の現実
- ・訪日外国人観光客と日本人から親しまれるゲストハウスの提案 -自身の夢をゲストハウスに託して-
- ・韓国観光政策に関する考察 -韓国の観光政策と日本の観光政策の比較-  
など

所属
人間社会学部 観光学科

所属学会
日本観光研究会(理事) 日本観光学会関西支部(幹事) 日本国際観光学会

専門分野
観光マネジメント、観光によるまちづくり、ニューツーリズム(スポーツツーリズム、ヘルスツーリズム)、国際観光(インバウンド)

担当科目
リゾート論、地域・都市集客論、観光政策論、観光学原論、観光学へのいざない 研究演習、卒業研究

備考
(土)(日)にプロジェクト活動をすることもあります(早目に予定します)し、その移動に伴う交通費が発生することもあります。

評価方法
・出席状況、取り組み姿勢、協力態勢、発表やプレゼンの内容等を総合的に判断します。

実務経験の有無及び活用
実務経験あり ・近畿日本ツーリスト株式会社において、主に海外旅行プログラムのソリューション営業、つまり個人旅行ではなく組織や団体の問題を解決するための企画を約30年間担当しました。その間に身につけた知識や情報、その入手方法を含めて、旅行企画や観光、観光事業における具体的な内容を講義するとともに、退社後に大学

学位
博士：創造都市

学位
博士：創造都市

教員よりの要望
2年生は重要な時期です。問題解決型演習として、地域を元気にするために楽しくフィールドワーク(調査・ヒアリング)を行い、そのプロセスや研究結果を発表しましょう。いろいろな人に会うことも重要であり、視察や会社訪問も行う予定です。人間形成をしながら卒業後のキャリアも視野に入れて前進しましょう。

実務経験の有無及び活用
実務経験あり ・近畿日本ツーリスト株式会社において、主に海外旅行プログラムのソリューション営業、つまり個人旅行ではなく組織や団体の問題を解決するための企画を約30年間担当しました。その間に身につけた知識や情報、その入手方法を含めて、旅行企画や観光、観光事業における具体的な内容を講義するとともに、退社後に大学

実務経験の有無及び活用
実務経験あり ・近畿日本ツーリスト株式会社において、主に海外旅行プログラムのソリューション営業、つまり個人旅行ではなく組織や団体の問題を解決するための企画を約30年間担当しました。その間に身につけた知識や情報、その入手方法を含めて、旅行企画や観光、観光事業における具体的な内容を講義するとともに、退社後に大学